

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…らぶらぶデイサービス（らぶらぶデイサービスセンター、第2らぶらぶデイサービスの2事業所合同）

サービス種類…地域密着型通所介護

会議開催日…令和6年10月21日

開催場所…就労支援事業所らぶ（旧）介護デイサービスらぶらぶ

出席者

事業所	3人	利用者	0人
利用者家族	2人	地域代表者	2人
知見を有する者	0人	包括支援センター	1人

議事

1、園長より

- ・らぶらぶデイサービスのある地域に住んでいて良かったと思ってもらえるデイサービスでありたいと思う。

皆様からの意見を頂いて明日からのサービス運営に繋げていきたい。

2、活動状況報告

- ① 資料を基に、活動報告を行う。
- ② 資料を基に、ヒヤリハット・事故報告を行う。

3、意見交換

(包括)・サービスがとてもきめ細やかで、らぶらぶデイサービスを希望される方がおられる。送迎可能な地域を把握しておきたい。

- ・ヒヤリハットについて…報告書が状況や対応・改善策が分かりやすくまとめている。改善策を見直していても離職等で職員の入替わりがあると周知することが難しいのではないかと。

(家族)・妻は失語症だが、頭・眼・耳は良い。いつも自分から「今日はどうだったか」と質問している。長年のリハビリで「うん」と返事ができるまでに良くなっていて感謝している。

・母が利用させてもらっている。体は、家では見せてもらえないので、デイサービスの入浴での皮膚の状況等を知らせてもらえ、受診することが出来ている。季節ごとに外出行事があり連れ出してもらえてありがたい。外出先を知ること、歩き難くなっている状態でも出かけられる場所がわかる。体が不自由な人が出かけられる場所をもっと知れたらいいと思う。

(地域)・ヒヤリハットについて…薬が手からこぼれた等、誰が見ていたか・見ていなかったかと責任を問うことも難しいが、きちんとその後の対策も書いてある。その対策を実行していくことも、結局は人のすることなのでこの通りにはならないと思うが、家族に対しての謝罪もされているので、同じ過ちを繰り返さないように改善していくといい。

・この地域も新しい家がどんどん建って人口が増えている。コミュニケーションも取り難くなっている中で、高齢化が進み、デイサービスなどの施設が近くにあると心強い。周囲の福祉関係の輪を広げて欲しい。

・人間関係に困っていたら誰かが助け、声を挙げ、パワハラのない楽しい職場であれば利用者さんも楽しめると思う。人と人とが笑顔で過ごせる施設であって欲しい。

(事業所) 介護スタッフの確保ができず、介護デイを閉鎖した。その後は就労支援事業所らぶを立ち上げた。求人を出して入職者はあるが養成していくことも大変。入社後は各リーダーの元で研修し指導し余裕のある期間で育成している。

4、その他

・出雲市の取り組みで「通所介護共同送迎」があるが、利用者様の細かい情報や状況がわからないまま送迎する事は難しいと思う。送迎も家族様とのコミュニケーションの一つと考えている。だが、人員不足や車の維持費などを考えるとこの先考えないといけない取り組みの一つと思う。

・断水時の対応…水道工事のがあり、前日に断水の知らせがあり対応に困ると訴えたところ、松江市水道局から災害時のタンク車が配置された。結局断水はなく工事は終えたが、風呂の水を溜めたり、紙コップ等利用し洗い物が出ない様にしたりし、災害時の訓練ができた。
デイサービスを地域の避難所にできるような対策を考えている。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○